



令和2年度 横手市優良工事表彰



令和2年7月

横 手 市

表紙：令和2年度 横手市優良工事表彰写真

上段 準用河川寄木川

中段 市道境中央線

下段 消防署西分署

目 次

1. 令和2年度 横手市優良工事表彰一覧表	1
2. 表彰工事の紹介 (受賞団体・受賞者の敬称は省略させていただきます。)	
平成30年度 準用河川 寄木川 河川等災害関連工事	2
平成30年度 増田地区(第2工区)電線共同溝整備工事	3
令和元年度 市立横手病院本町地区駐車場整備工事	4
平成30年度 市道境中央線道路改良工事	5
準用河川 寄木川 左右岸 河川災害復旧工事	6
旧南小学校解体工事	7
令和元年度 市道横手平鹿増田線舗装工事	8
令和元年度 市道寿町上横山線舗装工事	9
平成30年度 十文字橋補修工事	10
平成29年度(繰) 準用河川 寄木川 河川等災害関連工事	11
令和元年度 横手伏山・六ノ口地区管渠築造工事(第2工区)	12
西分署建設工事(建築工事)	13
3. 横手市優良工事表彰要綱	14

令和2年度 横手市優良工事表彰一覧表

番号	工 事 名	施 工 業 者	監 督 課 (発注課)
1	平成30年度 準用河川 寄木川 河川等災害関連工事	株式会社 最上田組	建設課
2	平成30年度 増田地区(第2工区)電線共同溝整備工事	日本コムシス株式会社 東北支店	都市計画課
3	令和元年度 市立横手病院本町地区駐車場整備工事	有限会社 野崎建設	建設課 (市立横手病院)
4	平成30年度 市道境中央線道路改良工事	株式会社 最上田組	建設課
5	準用河川 寄木川 左右岸 河川災害復旧工事	伊藤建設工業株式会社	建設課
6	旧南小学校解体工事	渡部工業有限会社	財産経営課
7	令和元年度 市道横手平鹿増田線舗装工事	株式会社 マルサ建設	建設課
8	令和元年度 市道寿町上横山線舗装工事	創和建设株式会社	建設課
9	平成30年度 十文字橋補修工事	株式会社 吉田建設	建設課
10	平成29年度(線) 準用河川 寄木川 河川等災害関連工事	三又建設株式会社	建設課
11	令和元年度 横手伏山・六ノ口地区管渠築造工事(第2工区)	株式会社 柏建設	下水道課
12	西分署建設工事(建築工事)	横手・創和 西分署建設工事 (建築工事) 特定建設工事共同 企業体	建築住宅課 (消防本部総務課)

受賞工事名	平成30年度 準用河川 寄木川 河川等災害関連工事
受賞技術者名	柳原 克美 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市大森町八沢木字塚須沢 地内	
請負者	住所	横手市黒川字千本野247番地
	商号	株式会社 最上田組
	代表者	代表取締役 最上田 政司
請負金額	¥52,168,320.-	
工事期間	平成31年2月19日 ~ 令和1年12月20日	
概要	施工延長	190.5m
	護岸工	822㎡
	嵩上工	58㎡
	樋管工	7箇所

【表彰理由】

平成29年に発生した豪雨により被災した寄木川の復旧工事であり、降雨時には増水する河川であったため施工が困難であったが、河川の特徴を十分に理解し、降雨前の現場保全を的確に実施することにより、数度の集中豪雨にも関わらず工程への影響は皆無であった。事故やトラブルも無く円滑に工事を完成させたほか、日常の出来形管理及び品質管理が非常に優れており、社内検査体制も確立されて十分に機能していた。また、集落内道路の舗装補修や未改修箇所への水路の設置など積極的に地域貢献に取り組む姿勢がみられた。



着工前



完成



完成



施工状況



施工状況



施工状況



施工状況



創意工夫 (仮橋)



創意工夫 (仮橋)

【受賞にあたって一言】

この度は優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。本工事は降雨時に水かさが一気に増す河川のため、掘削工事施工前に十日間予報を調べ、二次災害を起こさないように注意して施工しました。施工期間中、3回ほど増水しましたが、被害もなく、工期内に無事故で完成させることができました。これもひとえに、発注者のご指導及び地域住民の方々のご協力の賜物だと思っております。今後安全第一で、皆様に喜んでいただける仕事ができるよう日々精進したいと思っております。

受賞工事名	平成30年度 増田地区（第2工区）電線共同溝整備工事
受賞技術者名	斎藤 隆 現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

施工場所	横手市増田町増田字七日町 地内	
請負者	住所	宮城県仙台市若林区清水小路8番地36号
	商号	日本コムシス株式会社 東北支店
	代表者	支店長 松浦 敬裕
請負金額	¥102,453,120.-	
工事期間	平成31年2月15日 ~ 令和1年12月20日	
概要	管路工 1式 特殊部設置工 9基 舗装工 1,270㎡	

【表彰理由】

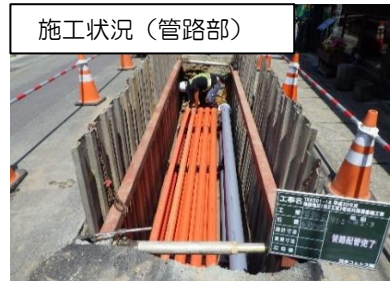
重要伝統的建造物群保存地区内での工事であり、観光客向けに営業する店舗が多く連なるほか、バス路線ともなっているため交通量の多い現場での施工となった。技術的な取組みとして共同溝特殊部の仮設工では、従来の覆工工法と比較して設置時間の短縮と通過交通による騒音低減が見込めるOLY工法を採用し工程短縮と騒音等の苦情発生を未然に回避した。
 また、店舗入り口での施工の際には、周辺環境に配慮した看板を設置するなど、積極的に地域貢献に取り組む姿勢がみられた。



完成後状況



施工状況（特殊部）



施工状況（管路部）



OLY工法施工状況①



OLY工法施工状況②



低騒音低振動型仮設の状況



環境に配慮した看板



看板設置状況



安全及び工事目的の周知看板

【受賞にあたって一言】

この度は優良工事表彰の栄誉を賜り心より御礼申し上げます。
 本工事は、増田町の重要伝統建造物の建ち並び通りが施工区間の為、観光客の往来が多く通行時の安全確保が重要なポイントでした。工事に対して地域の皆様と観光協会の方々の温かいご理解とご協力により、無事完成することができました。平成4年に横手工業高校を卒業して以来、念願の地元での工事に携われ県南の温かい人柄にふれあえた事に喜びと感謝を申し上げます。

受賞工事名	令和元年度 市立横手病院本町地区駐車場整備工事
受賞技術者名	中村 真人 主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市本町 地内	
請負者	住所	横手市山内三又字本田48番地
	商号	有限会社 野崎建設
	代表者	代表取締役 野崎 秋夫
請負金額	¥17,048,900.-	
工事期間	令和1年10月8日 ~ 令和2年1月14日	
概要	側溝工 67m 下層路盤工 1,015㎡ 表層工 1,015㎡	集水柵工 1箇所 上層路盤工 1,015㎡

【表彰理由】

施工区域は、病院、教育施設、住宅に囲まれた現場条件であったが、騒音及び振動対策などの安全対策に万全を期すことでトラブルもなく円滑に工事を完成させた。
 工法変更の提案により工期を短縮する姿勢がみられたほか、創意工夫の面では近隣の教育施設の現場見学会を実施し建設業のPRを行った。
 また、バックアップ材を利用した転落横断防止柵の通り調整による美観向上などの積極的な取り組みが行われたほか、品質証明などの管理体制も良く、出来形管理及び品質管理ともに優良であった。



着工前



完成



完成



工法変更提案（可変→落蓋）



通り調整による美観向上



バックアップ材



騒音・振動対策



幼稚園児現場見学会



幼稚園児現場見学会

【受賞にあたって一言】

この度は優良工事表彰の栄誉を賜りありがとうございます。
 当工事は、10月上旬から翌3月までの工期でありましたが、病院職員の方々の駐車場の降雪前供用開始を目標に早期完成をめざし仕事にあたりました。工程短縮をしつつも、決して成果品質をないがしろにする事の無いよう施工管理に努めました。工程短縮の提案施工も承諾いただき、無事12月中の施工完了及び供用開始を迎えることができました。

受賞工事名	平成30年度 市道境中央線道路改良工事
受賞技術者名	齊藤 吉和 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市上境字登津羅町 地内	
請負者	住所	横手市黒川字千本野247番地
	商号	株式会社 最上田組
	代表者	代表取締役 最上田 政司
請負金額	¥30,723,840.-	
工事期間	平成31年1月22日 ~ 令和1年7月31日	
概要	施工延長	160m
	路床安定処理	1,160㎡
	表層工	1,100㎡
	側溝工	116m

【表彰理由】

主要地方道大曲横手線と一般県道金沢吉田柳田線を結ぶ重要な路線であることから、一般車両を通行させながらの施工であったが、周辺関係機関との協議及び地元との連絡調整を密に図り、工事に伴う住環境や要望への配慮など地域に即した対応を実施し、事故やトラブルも無く円滑に工事を完成させた。
 また、日常の出来形管理及び品質管理が非常に優れており、社内検査体制も確立されて十分に機能していたほか、構造物の法線の通り、コンクリート仕上げ面、進入路のすり付けなど、全体的な美観が良好であった。



着工前



完成



完成



施工状況



施工状況



施工状況



施工状況



浄化槽配管



草刈りボランティア

【受賞にあたって一言】

この度は、優良工事表彰を賜り誠にありがとうございました。
 本工事は地域の重要な生活道路であり、物流の道路としての用途が大きく通行止めにはできない状況下での工事でしたが、地域住民の方々のご理解とご協力のもと、無事に完成させることができました。
 今回の受賞を身の誉れとし、今後とも地域の皆様に喜んでいただけるよう努めて参ります。

受賞工事名	準用河川 寄木川 左右岸 河川災害復旧工事
受賞技術者名	柴田 忠行 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市大森町八沢木字塚須沢3号 地内		
請負者	住所	横手市大町5番19号	
	商号	伊藤建設工業株式会社	
	代表者	代表取締役 中村 清昭	
請負金額	¥68,658,840.-		
工事期間	平成31年1月29日 ~ 令和1年9月17日		
概要	復旧延長	380.0m	
	左岸	306.0m	右岸 184.0m
	護岸工	1,137.0㎡	法覆工 270.0㎡

【表彰理由】

平成29年に発生した豪雨により、複数箇所が甚大な被害を受けた寄木川を復旧する工事であった。ブロック積工では、生コンクリート打設時の養生にビニールシートを使用し急激な乾燥を防ぐ対策を講じており優良な施工となっている。現場へのアクセス道路が他の災害復旧工事と調整しながらの通行となるなど厳しい条件のなか、鉄板養生による市道の破損防止対策などの取り組みが行われた。
また、中高生のインターンシップの受け入れや女性専用トイレの設置などにより、建設業のイメージアップに貢献した。



【受賞にあたって一言】

この度は、優良工事表彰を受け賜り誠にありがとうございます。
本工事は、平成29年に発生した豪雨により大森町八沢木塚須沢地区の複数箇所が甚大な被害を受けた寄木川を復旧する工事でした。資材・機械が搬入できる道路がない場所での復旧工事でしたが、監督職員はじめ地域住民の皆様のご理解とご協力のもと無事に完成することができました。
今回の受賞を励みに更なる安全・品質・技術の向上に努め、地域に貢献したいと思います。

受賞工事名	旧南小学校解体工事		
技術者名	千田 一雄	現場代理人兼監理技術者	※横手市優良工事表彰要綱に基づき表彰対象外

【工事概要】

施工場所	横手市雄物川町東里字相川野 地内		
請負者	住所	横手市平鹿町樽見内字小豆田256番地	
	商号	渡部工業有限会社	
	代表者	代表取締役 渡部 貢	
請負金額	¥93,852,000.-		
工事期間	令和1年5月20日 ~ 令和1年9月24日		
概要	建屋解体 校舎棟（RC造）延床面積 1,965.0㎡ 屋内体育館棟（S造）延床面積 628.0㎡ その他（W造）延床面積 114.78㎡ プール 延床面積 614.3㎡ アスベスト除去、PC杭引抜、外構工作物・地下埋設物撤去、樹木類の伐採・伐根、備品類撤去含		

【表彰理由】

解体作業やアスベスト除去について、施工計画に基づき適正に実施されたほか、不可視箇所の基礎部や断熱材等の調査、数量管理、報告等が確実に実施され廃棄物処理票の管理も適切であった。解体のほか196本の杭の引抜を伴う工事であったが、土壌の性質に適合した機械の選定による効率的な作業の実施に加え、自発的に矢板を打ち込むことにより、近隣の建物へ工事による影響が出ないように工夫した。
 また、解体後の整地にはレーザーを用いた重機で平滑に仕上げられており、施工管理及び出来映えが優れていた。

近隣施設への配慮（矢板施工）



近隣施設への配慮（矢板施工）



昔の校舎の基礎塊発見・撤去



従来工法（杭抜き・変更前）



オガケツグ工法（杭抜き・変更後）



水道本管からの消火栓撤去



レーザー装着ブルドーザーを利用した整地（施工中 左・施工後 右）



【受賞にあたって一言】

この度は、横手市優良工事表彰をいただき誠にありがとうございます。これもご指導いただいた監督職員の方々や、地域住民のご協力の賜物であると心より感謝申し上げます。当現場では基礎杭の引抜が工事に入っておりました。引抜前の基礎の湧水が多くポンプアップで苦労したほか、保育園建物が近接していたため、矢板を打込み、建物の倒壊防止に努めました。これからの工事も監督職員ならびに近隣住民とのコミュニケーションに努め、無事故、無災害で完成させていきたいと思っております。

受賞工事名	令和元年度 市道横手平鹿増田線舗装工事
受賞技術者名	菅原 貴之 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市平鹿町醍醐字城廻 地内	
請負者	住所	横手市十文字町睦合字川前139番地1
	商号	株式会社 マルサ建設
	代表者	代表取締役 佐藤 義美
請負金額	¥26,530,900.-	
工事期間	令和1年6月25日 ~ 令和1年10月8日	
概要	施工延長	643m
	路面切削工	4,930㎡
	オーバーレイ工	4,930㎡

【表彰理由】

防山トンネルと馬鞍トンネルに挟まれた区間での施工であり、非常に見通しが悪いことに加え、最大縦断勾配も6.7%と危険な現場条件であったが、区域外のトンネルも含めて片側交互通行規制を行い、事故やトラブル防止に努めたほか、横手かまくらFMでの工事周知や地元住民への説明会を実施し、円滑に工事を完成させた。

また、出来形管理及び品質管理についても非常に優れており、勾配や平坦性を保持しつつ伸縮装置や地覆への擦り付けも丁寧に施工されており、全体的な美観に優れていた。



着工前



完成



完成



油類漏れ訓練



草刈りボランティア



洗堀箇所修繕



鋼板継ぎ目



側溝清掃



女性現場視察

【受賞にあたって一言】

この度は、優良工事表彰を賜り誠にありがとうございました。
 監督職員の方々をはじめ、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。本工事は、馬鞍地区のトンネル間（643m）の舗装工事でした。施工に先立ち、生活道路の安全で快適な利用と維持管理のしやすさを念頭に置き、同時に無事故無災害を目標にし無事に完成することができました。
 今回の受賞を励みに更なる安全と品質の向上に努めてまいりたいと思います。

受賞工事名	令和元年度 市道寿町上横山線舗装工事
受賞技術者名	村田 一志 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市寿町 地内	
請負者	住所	横手市駅前町13番8号
	商号	創和建设株式会社
	代表者	代表取締役社長 小原 朗
請負金額	¥24,998,600.-	
工事期間	令和1年7月23日 ~ 令和1年10月17日	
概要	施工延長	353.5m
	路面切削工	3,350㎡
	オーバーレイ工	3,349㎡
	区画線工	1,145m

【表彰理由】

本路線は交通量が多く、複数の取付道路があり、沿道には住宅や店舗が密集していることから着手前に社内施工検討会を実施し、細部にわたる施工計画を作成したうえで工事に着手した。工事のお知らせ文書を広範囲に複数回配布し、予告看板には夜間にも認識できるソーラー式点滅灯を設置するなど、事前周知を徹底した。また、交差点毎の交通誘導員の配置、夜間工事の際の超音波式安全装置の使用、車道上に作業員が立ち入る必要がない道路縦横断計測システムの使用、路面切削直後の仮区画線の設置など安全対策への取り組みが顕著であった。



【受賞にあたって一言】

この度は、横手市優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。
 本工事は、取付道路8ヶ所の破損も激しく、細部にわたり施工計画を練り直しました。また、夜間工事における地元の皆様のご理解を得るため、複数回工事説明に伺いました。無事に工事が完成できましたのは、ご指導いただいた監督職員の方々及び地域住民の皆様のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。今後も業務への精励により、地域社会に貢献してまいります。

受賞工事名	平成30年度 十文字橋補修工事
受賞技術者名	石塚 智浩 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市十文字町字十文字 地内			
請負者	住所	横手市雄物川町薄井字下開344番地		
	商号	株式会社 吉田建設		
	代表者	代表取締役 吉田 博行		
請負金額	¥17,544,520.-			
工事期間	平成31年3月29日 ~ 令和1年10月31日			
概要	舗装打換え工	163㎡	橋面防水工（塗膜系防水）	41㎡
	伸縮継手工	12.9m	橋梁用防護柵工	13m
	地覆補修工	2㎡	橋体補修工	5㎡
	支承取替工	4個		

【表彰理由】

交通量が多く、沿線に住宅や商店が建ち並び、かつ狭隘な現道での橋梁補修であったが、交通誘導員や保安施設の適切な配置など万全な安全対策を実施したうえで施工を行った。
 また、詳細な現地調査を行い、再構築する主桁コンクリートを作業ヤードにて陸打ちで製作し設置するなど、現場条件に応じた施工や仮設方法の検討・実施により工程の短縮及び品質の向上を図った。橋梁両側に添架物があり難易度の高い工事であったが、工事全般にわたり技術的提案や安全衛生面への創意工夫があり、品質及び出来形管理ともに優良であった。



完成



安全対策（交通誘導員配置等）



安全対策（飛散防止ネット）



主桁コンクリート陸打ち製作



主桁コンクリート設置



発砲スチロール材使用作業船



コンクリート養生（川水利用）



コンクリート打継目剤使用



添架物防護

【受賞にあたって一言】

この度、横手市優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。
 本工事に関係された皆様に心より深く感謝申し上げます。現場は、交通量が多い割に道路幅員が大変狭く、且つバス路線でもあったため、特に第三者の安全確保を最優先に考え施工しました。施工を工夫して、交通規制時間を大幅に短縮し第三者の安全確保と工程短縮を両立、品質確保につなげ無事故で完成できました。今後も技術と品質の向上に取り組み、安全優先で施工いたします。

受賞工事名	平成29年度(繰) 準用河川 寄木川 河川等災害関連工事
受賞技術者名	岡根 正 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市大森町八沢木字塚須沢 地内	
請負者	住所	横手市山内三又字落合10番地1
	商号	三又建設株式会社
	代表者	代表取締役 下夕村 正樹
請負金額	¥65,544,120.-	
工事期間	平成31年2月19日 ~ 令和1年12月20日	
概要	施工延長	238.9m
	護岸工	1,179㎡
	嵩上工	44㎡
	樋管工	3箇所

【表彰理由】

平成29年に発生した豪雨により被災した寄木川の復旧工事であり、施工の大半をコンクリート打設が占めた。関連する上下流区との事業間調整が綿密に行われ、他区への影響を回避し円滑に工事を完成させたほか、出来形管理及び品質管理が非常に優れており、小口止工の連結金具の締め付け状況やトルク測定等きめ細やかな施工管理が徹底された。
 また、創意工夫としてコンクリート二次製品の劣化防止対策に積極的に取り組み、社内検査体制も確立されて十分に機能していた。



【受賞にあたって一言】

優良工事に選定いただき、誠にありがとうございます。
 現場は仮設道路や資材を仮置するスペースが乏しかったため、隣接する農地を借上げ、農転申請することで必要スペースを確保し、材料運搬の移動ロスを最小限に抑えることができました。また、小口止は二次製品を使用し、工程の短縮及び景観の統一を図りました。
 本受賞を励みに、より一層技術者として精進してまいります。

受賞工事名	令和元年度 横手伏山・六ノ口地区管渠築造工事（第2工区）		
技術者名	鈴木 司	現場代理人	※横手市優良工事表彰要綱に基づき表彰対象外

【工事概要】

施工場所	横手市横手町字六ノ口地内 外		
請負者	住所	横手市大雄字八柏中村東9番地	
	商号	株式会社 柏建設	
	代表者	代表取締役 鈴木 賢一	
請負金額	¥65,236,600.-		
工事期間	令和1年7月17日 ~ 令和2年1月31日		
概要	路線延長	458.39m	管布設工 (PRPφ200mm) 441.84m
	本管推進工 (VPφ200mm)	8.00m	マンホール工 (1号人孔) 6箇所
	小型マンホール工 (レジン)	5箇所	取付管及び柵工 30箇所
	取付管推進工 (VPφ150mm)	5箇所	付帯工 1式

【表彰理由】

施工管理において全ての管理資料が施工計画書のとおり遵守されていることが明確に把握できることに加え、出来形、品質共に優れていた。創意工夫や技術提案では、簡易土留め工による立て込み及び引き抜きの際に発生する下水道工事固有の問題に対するシーティング関連の取り組みが多く実施された。
 また、施工地に隣接する沿道に「よこてシティハーフマラソン」の応援看板を設置するなど地域貢献への取り組みも顕著であった。



完成



完成



本管推進



エコモーションライト



取付管推進



夜間舗装



敷鉄板騒音防止



鉄板蓋騒音防止

【受賞にあたって一言】

この度は、優良工事表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。
 現場は県道との交差点が近く交通量が多い住宅密集地でしたので、地域住民の方々の負担軽減、安全対策と工程管理に重点を置き施工しました。無事完成することができましたのも、監督職員の方々をはじめ、関係各位様、地域住民様のご理解とご協力によるものと心より感謝申し上げます。今後も地域社会に貢献できるよう努力してまいります。

受賞工事名	西分署建設工事（建築工事）
受賞技術者名	鎌田 隆志 現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

施工場所	横手市雄物川町薄井字両頭196番地1	
請負者	商号	横手・創和 西分署建設工事（建築工事）特定建設工事共同企業体
	構成	代表 横手建設株式会社 代表取締役 武茂 広行 創和建设株式会社 代表取締役社長 小原 朗
	技術者	現場代理人兼監理技術者 横手建設株式会社 鎌田 隆志 主任技術者 創和建设株式会社 小西 弘光
請負金額	¥239,800,000.-	
工事期間	令和1年6月20日 ～ 令和2年2月28日	
概要	西分署（新築 鉄骨造2階建て 延床面積865.42㎡） 緊急出動表示灯（新築 鉄骨造 高さ6.25m）	

【表彰理由】

関連する工事との事業間調整が綿密に行われ、円滑な工事の進捗が図られた。ドローンによる現地調査や3Dスキャナーを用いた舗装面の測量、ICT建機を用いた基礎地盤改良工事の施工等の先進的なデジタル技術を積極的に活用し、労務費削減、工期短縮に努めた。
また、女性社員による安全パトロール等の独自の取り組みを行ったほか、専用休憩所やトイレを設けるなど、女性技術者も働きやすい現場環境の整備に加え、よこて建設女子会の現場見学会の受け入れを行い建設業のイメージアップに貢献した。

<p>完成</p> 	<p>ドローン空撮による進捗把握</p> 	<p>3Dスキャナーによる舗装面測量</p> 
<p>ICT建機を用いた基礎地盤改良</p> 	<p>ICT建機モニター</p> 	<p>女性職員パトロール</p> 
<p>女性専用休憩所</p> 	<p>女性専用トイレ</p> 	<p>よこて建設女子会見学会</p> 

【受賞にあたって一言】

この度は優良工事表彰を賜り誠にありがとうございました。
監督職員の御指導と、地域住民の御理解と御協力の賜物であると心より感謝申し上げます。本工事では、当社の建築工事で初めて土工事にICT建機を用いて掘削作業を実施し工期短縮に繋げることができました。
また、積極的に中高生のインターンシップの受け入れ、よこて建設女子会見学会の受け入れを実施しました。今後も更なる技術力の向上と、地域社会に貢献していきます。

横手市優良工事表彰要綱

(目 的)

第1条 この告示は、市が発注した建設工事のうち特に優れたものを施工した請負業者及び技術者を表彰することにより、その建設技術の向上を図り、もって市における工事の品質の向上及び適正な施工に資することを目的とする。

(定 義)

第2条 この告示において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 建設業法（昭和24年法律第100号。以下「法」という。）第2条第1項の建設工事
- (2) 請負業者 法第2条第3項の建設業者で、市が発注した建設工事を請け負ったもの
- (3) 現場代理人 法第19条の2第1項の現場代理人
- (4) 主任技術者 法第26条第1項の主任技術者
- (5) 監理技術者 法第26条第2項の監理技術者

(表彰の種類)

第3条 表彰の種類は、次のとおりとする。

- (1) 優良工事表彰
- (2) 優良技術者表彰

(優良工事表彰の対象)

第4条 優良工事表彰の対象となる建設工事（以下「優良工事」という。）は、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 表彰を実施する年度の前年度（以下「表彰対象年度」という。）に完成し、かつ、1件の請負金額が300万円以上のもの
- (2) 横手市工事成績評定要領（平成17年横手市訓令第48号）に基づく評定において「優れた工事」と評価されたもの

(優良技術者表彰の対象)

第5条 優良技術者表彰の対象者（以下「優良技術者」という。）は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 優良工事に係る現場代理人、主任技術者及び監理技術者のうち、工事監督の中心となった者
- (2) 表彰対象年度の3月31日現在において優良工事の請負業者に2年以上継続して勤務している者
- (3) 表彰日現在において当該請負業者に雇用されている者

(推 薦)

第6条 建設工事を主管した課室所等の長は、優良工事のうち他の模範となる取組みを行ったと認められるものについて、優良工事推薦調書（別記様式）により次条の審査委員会に推薦するものとする。

(審査委員会)

第7条 前条の規定により推薦された優良工事について客観的に審査を行い、優良工事表彰及び優良技術者表彰の候補者を選考するため、横手市優良工事表彰審査委員会（以下「審査委員会」という。）を置く。

2 審査委員会は、副市長、総務企画部長、財務部長、農林部長、建設部長、上下水道部長及び契約検査課長をもって組織する。

(委員長及び副委員長)

第8条 審査委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は、横手市副市長事務担任規程（平成19年横手市訓令第16号）に規定する財務部に属する事務を担当する副市長をもって充てる。

- 2 副委員長は、財務部長をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会 議)

第9条 審査委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 審査委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 審査委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(表彰候補者の報告)

第10条 委員長は、審査の結果に基づき、表彰候補者を市長に報告しなければならない。

(表 彰)

第11条 市長は、前条の報告に基づき、被表彰者を決定するものとする。

- 2 表彰は、毎年9月末までに市長が行う。
- 3 被表彰者に対しては、表彰状を授与する。

(表彰の取消し)

第12条 市長は、被表彰者が次の各号のいずれかに該当する場合は、表彰を取り消すことができる。

- (1) この告示に基づいて表彰を行った建設工事（以下「表彰工事」という。）において瑕疵があったとき。
- (2) 表彰工事に関して損害賠償請求事由が発生したとき。
- (3) 表彰工事の請負業者が法令違反等により処分を受けたとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が表彰にふさわしくない行為があると認めたとき。

(庶 務)

第13条 審査委員会等の庶務は、財務部契約検査課において処理する。

(その他)

第14条 この告示に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

横手市優良工事表彰審査委員会

事務局 契約検査課

